

北海道国立大学機構は北海道立総合研究機構と包括連携協定を締結しました。

北海道国立大学機構(北学機構)と北海道立総合研究機構(道総研)は、相互に連携・協力し、双方が行う研究開発や人材育成等を効果的に推進することにより、地域の産業及び経済の発展に寄与することを目的として、令和8年6月9日(火)に包括連携協定を締結しました。

この協定の締結により、北学機構の「研究」と「教育」、道総研の「試験研究」と「技術支援」の両機構の強みを活かし、人口減少・気候変動・産業構造の変化が進む北海道の課題解決と持続的発展に貢献します。

今回締結した連携協定に基づく連携協力事業は、次のとおりです。

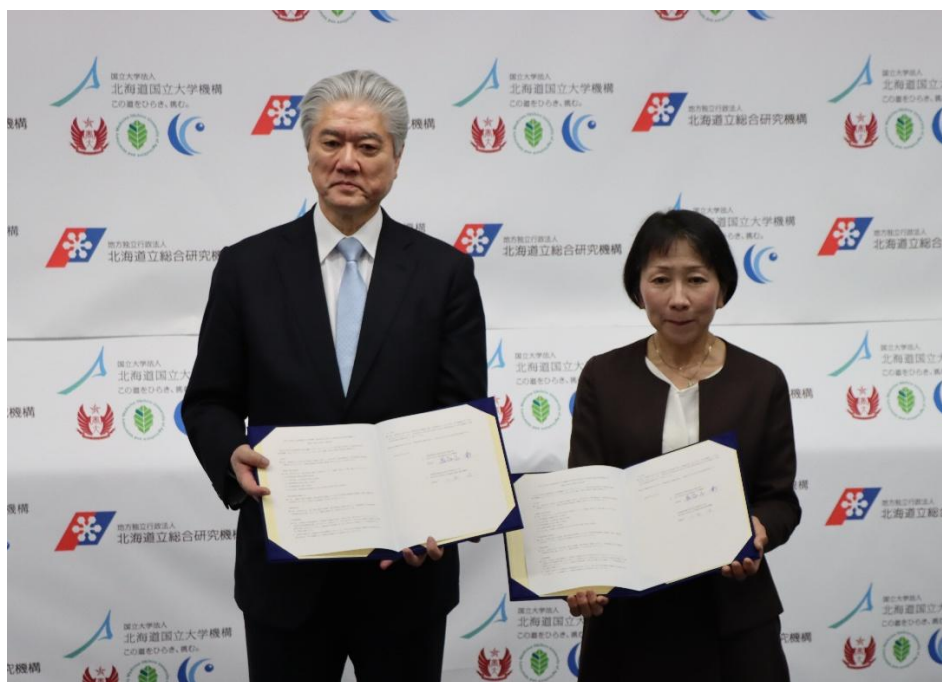
【連携協力事業】

北学機構と道総研は、本協定の目的を達成するために、次に掲げる事項について連携・協力して取り組むこととしています。

- (1)研究開発の推進
- (2)人材交流・人材育成
- (3)研究資源の共有
- (4)広報活動
- (5)その他、本協定の目的遂行のために双方が必要と認める事項

※帯広畜産大学と道総研の包括連携協定(平成 25 年9月 26 日締結)は、本協定の締結をもって終了となりました。

今後、同大学との協力関係は、本協定の枠組みの中で継続します。



[写真：左から 北学機構 長谷山 理事長、道総研 小高 理事長]



[写真：左から 北学機構 北見工業大学 榮坂 学長、帯広畜産大学 長澤 学長、小樽商科大学 江頭 学長、長谷山 理事長、道総研 小高 理事長、井上 理事、神野 研究推進部長]